

様式 5

男女県第 363 号
平成 24 年 12 月 14 日

福井県新しい公共支援事業運営委員会
委員長 小林 嘉宏 様

福井県知事 西川 一誠

新しい公共支援事業実績報告の提出について

新しい公共支援事業実績報告書（平成 24 年度上半期）を提出する。

1. 新しい公共支援事業に関する都道府県の実績報告
様式 5-1 を参照
2. 都道府県が実施した支援事業に関する結果報告等（ただし、委託した業務は除く。）
様式 5-2 を参照
3. 提出された実施要領第 4 の 8 の報告書
様式 4-1（NPO 等活動基盤強化事業の支援対象者）
様式 4-3（新しい公共の場づくりモデル事業）
様式 4-5（NPO 等活動基盤強化事業）
} 今回は「なし」
4. 更新された事業計画書
様式 2 を参照
5. 運営委員会の決定に関する実施要領第 5 の 4 (9) に基づく報告
該当なし（「運営委員会の決定等に反する判断がなされた場合」に該当する事項なし）
6. 広域的な取り組み（ガイドライン 6-6-5）及び内部組織間の連携（同 6-6-6）の状況

- 広域的な取り組み
連絡調整会議（H24.9.3 中部・北陸ブロック） 各県との情報交換を随時実施
- 内部組織間の連携
男女参画・県民活動課が窓口となり、関係部局との連携および情報の一元化を図っている。

7. 添付書類
・平成 24 年度上半期 新しい公共の場づくりモデル事業 進捗状況

新しい公共支援事業に関する都道府県の実績報告（平成24年度上半期）

1. 実施状況

1 新しい公共の場づくりモデル事業

地域の課題解決を図る事業を、県・市町と NPO 等民間団体が共同提案し、連携して事業を実施

■募集期間：平成23年12月1日～平成24年2月3日

■事業選定：第2回運営委員会／プレゼン形式による審査（平成24年3月21日）

■応募・選定件数

| | 県 | | 市町 | | 計 | |
|----|-----|----------|----|----------|-----|----------|
| 応募 | 17件 | 45,389千円 | 7件 | 16,007千円 | 24件 | 61,396千円 |
| 選定 | 14件 | 34,635千円 | 7件 | 16,007千円 | 21件 | 50,642千円 |

■事業期間：平成24年4月～平成25年3月

■進捗状況：「平成24年度上半期 新しい公共の場づくりモデル事業 進捗状況」のとおり

2 NPO等活動基盤強化事業

以下のとおり公募型プロポーザル方式により委託先を選定し、事業を実施

■募集期間：平成24年4月13日～5月8日

■委託先選定：第3回運営委員会／プレゼン形式による審査（平成24年5月18日）

「サポネットふくい」を選定

※県内の中間支援組織3団体で構成されるコンソーシアム（共同体）

①(特活) コラボ NPO ふくい、②(特活) さばえ NPO サポート、③(特活) WAC おばま

■事業期間：平成24年5月21日～平成25年3月31日

■実施事業

① スキルアップ講座開催事業

■内容：各分野の専門家を講師に、NPO等のスキルアップを目的とした各種講座を開催

| 講座名 | 講師 | 開催日 | 参加人数 |
|--|--|------------|------------|
| 広報・情報発信 基礎編 広報・広告を学ぶ 応用編 チラシ・パンフレットの製作を学ぶ | 阿部 俊二 (ADディレクター) 鳴尾 健 (福井街角放送機代表取締役) 岩崎 聡 (株ウオント代表取締役) | H24. 7. 28 | 14 団体 21 人 |
| | 伊藤 達雄 (デザイナー) 新谷 英樹 (デザイナー) マイクヨコハマ (フォトグラファー) | H24. 8. 4 | 16 団体 22 人 |
| ホームページ作成 基礎編 魅せるホームページを創ろう 応用編 ホームページをデザインする | 駒井 健生 (KDDI コミュニケーションズ) | H24. 7. 14 | 13 団体 18 人 |
| | 坂田 守史 (株)デザインスタジオ・ビネン | H24. 7. 22 | 13 団体 16 人 |
| フェイスブック入門講座 『新しい社交の場 SNS を知ろう』 (福井市2回、鯖江市、敦賀市) | 竹内 善紀 (IT BRAIN) 堂前 清美 (特活) そうほうセンターさんさん | H24. 8. 28 | 11 団体 12 人 |
| | | H24. 9. 7 | 9 団体 12 人 |
| | | H24. 9. 11 | 7 団体 10 人 |
| | | H24. 8. 23 | 5 団体 8 人 |

| | | | |
|---|--|--------------|------------|
| 融資申請・経営指導 基礎編 NPOの事業展開の確立にあたって 応用編 NPOの事業戦略とリーダーシップの発揮 | 川岸 正明 (中小企業診断士) | H24. 10. 29 | 4 団体 10 人 |
| | 出倉 裕 (中小企業診断士・社会保険労務士) | H24. 11. 9 | 6 団体 6 人 |
| NPO法人会計基準 | 南部 昌希 (税理士) | H24. 12. 2 | 12 団体 16 人 |
| | 勝山 章宏 (税理士) | H25. 1. 20 | 団体 人 |
| 労務管理、コンプライアンス | 中野 和信 (特定社会保険労務士) | H25. 1. 12 | 団体 人 |
| | | H25. 1. 26 | 団体 人 |
| コミュニティビジネス | 水上 聡子 (アルマス・バイオコスモス研究所代表) | H24. 11. 10 | 6 団体 10 人 |
| | 間宮 務 (県中小企業団体中央会) | H24. 11. 16 | 6 団体 6 人 |
| 資金 (助成金等) 獲得 『日本財団「おぎちゃん」こと荻上氏の助成金活用術!』 第1回 助成金活用についてのコツ伝授 第2回 助成担当者とのトークセッション | 荻上 健太郎 (日本財団) | H24. 8. 5 | 20 団体 30 人 |
| | 各助成財団の担当者 福井県共同募金会 福井県まごころ基金 福井県民生協 助成金獲得3団体 | H24. 9. 2 | 13 団体 15 人 |
| 合 計 (延べ) | | 155 団体 212 人 | |
| 合計 (実支援団体) | | 54 団体 | |

(平成 24 年 12 月 2 日現在)

② 専門家による個別相談会

■内容：税理士、中小企業診断士、プログラマー、デザイナーが県内4地域を巡回して個別相談会を実施

| 会 場 | 開催日 | 税理士 | 中小企業 診断士 | プログラ マー | デザイナ ー | 合計 (件) |
|-----------------------|-------------|-----|-------------|------------|-----------|-----------|
| 福井市 (フェニックス・プラザ) | H24. 11. 3 | 1 | 2 | 1 | 1 | 5 |
| 大野市 (結とびあ) | H24. 11. 11 | 1 | | 1 | 1 | 3 |
| 鯖江市 (鯖江市民活動交流センター) | H24. 11. 25 | 1 | 1 | | 1 | 3 |
| 敦賀市 (男女共同参画センター) | H24. 12. 8 | | | | | |
| 合計 (延べ件数) | | 3 | 3 | 2 | 3 | 11 |
| 合計 (実支援件数) | | | | | | 11 |

(平成 24 年 11 月 30 日現在)

③ 専門家派遣による個別指導

■内容：税理士、社会保険労務士等の専門家をNPO等の事務所へ派遣して個別指導を実施

| 専門家（指導内容） | 利用団体 | 利用回数 |
|------------------------|------|------|
| 税理士（税、財務諸表） | 1 団体 | 1 回 |
| 中小企業診断士（融資申請、経営指導） | 団体 | 回 |
| 社会保険労務士（労務管理、コンプライアンス） | 団体 | 回 |
| 弁護士（法務） | 団体 | 回 |
| プログラマー（ウェブサイト作成） | 団体 | 回 |
| デザイナー（広報・情報発信） | 団体 | 回 |
| 合計（延べ） | 1 団体 | 1 回 |
| 合計（実支援団体） | 1 団体 | |

（平成 24 年 11 月 30 日現在）

④ 認定NPO法人取得支援事業

■趣 旨：認定NPO法人制度について、認定取得を目指す意欲を持ったNPO法人を対象に専門家による制度全般の説明や個別相談会の開催など認定申請のために必要な支援を実施

■テーマ：新認定NPO法人制度の概要説明、個別相談会の実施

■講 師：（計画中）

■内 容：（計画中）

| 会 場 | 開催日 | NPO等 | | 行政 | 合計 |
|------|-----|------|---|----|----|
| 福井市 | | 団体 | 人 | 人 | 人 |
| 奥越地区 | | 団体 | 人 | 人 | 人 |
| 丹南地区 | | 団体 | 人 | 人 | 人 |
| 嶺南地区 | | 団体 | 人 | 人 | 人 |
| 合 計 | | 団体 | 人 | 人 | 人 |

⑤ イベント・フォーラム開催事業

ア NPO同士やNPOと行政職員の情報交換やネットワーク作りのための地域別交流会の開催

| 地域 | 会場 | 開催日 | NPO等 | | 行政 | | 合計 |
|----------------|------------|-------------|-------|------|-----------|------|------|
| 奥越地区① （大野市） | 結とびあ | H24. 8. 27 | 10 団体 | 14 人 | 1 市、県 3 課 | 15 人 | 29 人 |
| 奥越地区② （勝山市） | 勝山市民活動センター | H24. 8. 30 | 17 団体 | 26 人 | 1 市、県 4 課 | 8 人 | 34 人 |
| 丹南地区 （越前市） | サンドーム福井 | H24. 9. 28 | 16 団体 | 23 人 | 2 市、県 3 課 | 14 人 | 37 人 |
| 嶺南地区 （小浜市） | 働く婦人の家 | H24. 10. 23 | 23 団体 | 31 人 | 2 市、県 3 課 | 12 人 | 43 人 |

| | | | | | | | |
|--------------------|-------------|-------------|-------|-------|--------------|------|--------|
| 福井・坂井地区① (坂井市) | ハートピア 春江 | H24. 10. 31 | 6 団体 | 10 人 | 1 市、県 4 課 | 10 人 | 20 人 |
| 福井・坂井地区② (福井市①) | アオッサ | H24. 11. 19 | 10 団体 | 16 人 | 1 市、県 1 課 | 5 人 | 21 人 |
| 福井・坂井地区③ (福井市②) | アオッサ | H24. 11. 20 | 10 団体 | 12 人 | 2 市町、県 4 課 | 8 人 | 20 人 |
| 合計 (延べ) | | | 92 団体 | 132 人 | 10 市町、県 22 課 | 72 人 | 204 人 |
| 合計 (実参加団体) | | | 83 団体 | | 21 団体 | | 104 団体 |

■得られた成果と今後の課題

- ・各会場とも非常に多くの参加者があり、盛況のうちに開催することができた。特に奥越地域（大野市、勝山市）はこのように地域のNPOが一堂に会する機会は初めてだったこともあり、意見交換が活発に行われた。
- ・地域毎に開催したことにより、同じ地域で活動しながらも今まで知り合うことのなかったNPO同士の顔合わせの機会を提供することができた。
- ・実際会場では、同じ分野で活動するNPO同士が今後の連携に向けて、意見交換する場面や名刺交換する場面が見られた。
- ・地域毎に開催したことにより地域特有の課題を抽出し参加者で認識を共有できた。
- ・行政とNPOが地域の課題解決を図る仮想事例についてシミュレーションすることにより、それぞれできること・できないこと、得意なこと・不得意なことを確認したことで、今後の協働に向けたお互いの認識を共有できた。
- ・県の出先機関からの参加が多くあり、地域のNPO活動への関心の高さがうかがえた。
- ・中間支援機能を持ったNPOの必要性がどの地域でも認識されたことは大きな成果と言える。今後、中間支援組織がない地域においても、中間支援機能を持ったNPOを育成していくことも必要と考える。
- ・意見交換のテーマは参加者全員が話せるものに設定する必要がある。
- ・今後も、内容的には見直す必要があるものの、各地域で活動するNPO等と行政が一堂に会する機会を継続的に設定していく必要がある。

イ NPO等が金融機関から融資を受けやすくする環境を整備するため、金融機関とNPO等との融資説明会・相談会の実施

■金融機関：日本政策金融公庫（福井会場、敦賀会場）、北陸労働金庫（全会場）

| 会 場 | 開催日 | 相談者 (NPO等) | |
|--------------------|-------------|------------|------|
| 福井市 (フェニックス・プラザ) | H24. 8. 5 | 20 団体 | 30 人 |
| 大野市 (結とぴあ) | H24. 11. 11 | 3 団体 | 3 人 |
| 鯖江市 (鯖江市民活動交流センター) | H24. 11. 25 | 2 団体 | 4 人 |
| 敦賀市 (男女共同参画センター) | H24. 12. 8 | 団体 | 人 |
| 合計 (延べ) | | 25 団体 | 37 人 |
| 合計 (実支援団体) | | 25 団体 | |

(平成 24 年 11 月 30 日現在)

⑥ プロボノ、災害ボランティア登録・活動促進事業

ア プロボノ活動促進事業

- 内容 ・ 社会人等が自分の職能や専門的知識・経験を提供する新しいボランティアの形式「プロボノ」の仕組みや活用に関するセミナーを開催
- ・ プロボノとNPOのニーズとのマッチングを実施

基礎講座

『プロボノセミナー』

プロボノとは何か？－基本知識からその可能性まで－

- ・ 講師 (特活)フローレンス理事・(株)アム代表取締役 岡本 佳美 氏

| 会場 | 開催日 | NPO等 | 企業 | 行政 | 合計 |
|---------------------|------------|------------|----------|-----|------|
| 福井市 (福井市地域交流プラザ) | H24. 8. 25 | 15 団体 22 人 | 2 団体 2 人 | 6 人 | 30 人 |
| 敦賀市 (敦賀商工会議所) | H24. 8. 26 | 8 団体 9 人 | — | 2 人 | 11 人 |
| 合計 (延べ) | | 23 団体 31 人 | 2 団体 2 人 | 8 人 | 41 人 |

応用講座①

『NPO等の事業マネジメント 基礎セミナー』

様々な支援(プロボノ支援や資金援助)を受けるためにも社会に認められる組織運営能力を身につけよう！

- ・ 講師 (特活)パブリックリソースセンター 田口 由紀絵 氏
- ・ 内容 各NPOが抱えている組織運営上の課題を抽出し、プロボノ等による支援が必要な事項を確認する。

| 会場 | 開催日 | NPO等 | 企業 | 行政 | 合計 |
|----------------|------------|----------|------|-----|-----|
| 福井市 (県自治会館) | H24. 12. 1 | 5 団体 7 人 | 団体 人 | 1 人 | 8 人 |

イ プロボノ、災害ボランティア登録促進事業

- 内容 企業人、NPOの社会貢献活動支援ネット(※)への登録促進

※企業からの人材やノウハウをNPO等に橋渡しするプロボノ(社会人が自分の職能や経験を提供する社会貢献活動)や災害発生時に活動する災害ボランティアを登録し、NPOや被災地のニーズとマッチングさせるシステム

開発ベンダー：(株)システム研究所

| 種別 | 個人登録 | 団体登録 | 合計 |
|------------|------|-------|-----|
| ボランティア希望者 | 96 人 | 4 団体 | 100 |
| ボランティア募集团体 | — | 66 団体 | 66 |

(平成 24 年 12 月 10 日現在)

⑦ NPO資金調達支援事業

- 内容 NPO等が自ら県民・企業に対して戦略的に寄附などの資源提供を働き掛けられるよう、資金調達(ファンドレイジング)の基礎知識や戦略策定の手法を学ぶセミナーを集中的に開催

| 回数 | 内容 | 講師 | 開催日 | 参加者 |
|-----|------------------------------------|----------------------------------|------------|------------|
| 第1回 | 市民資金(ファイフス)が地域を築く ～市民参加の新しいかたち～ | 佐野 修久 (釧路公立大学 教授) | H24. 9. 22 | 15 団体 20 人 |
| 第2回 | “意思ある寄付”京都からの報告 | 戸田 幸典 (公財)京都地域創造基金 専務理事・事務局長) | H24. 10. 6 | 15 団体 21 人 |

| | | | | |
|------------|------------------------------|-----------------------------|-------------|------------|
| 第3回 | ファンドレイジングのための5つのマーケティング・プロセス | 長浜 洋二 (NPOマーケティング研究所 代表) | H24. 11. 11 | 9 団体 10 人 |
| 第4～7回 | ファンドレイジング戦略の策定支援 | (計画中) | | 団体 人 |
| 合計 (延べ) | | | | 39 団体 51 人 |
| 合計 (実参加団体) | | | | 12 団体 |

⑧ ボランティア・コーディネーター育成事業

- 内容 平常時においてボランティアとその活動の場との調整ができるとともに、災害時においても被災地とボランティアをつなぐことができる専門のスキルを持つコーディネーターを育成するセミナーを集中的に開催

(詳細は計画中)

⑨ NPO等との協働に関する研修事業 (県・市町職員対象)

■内容

- (1) 目的 県・市町職員を対象にNPO等との協働に関する意識改革を促し、協働の考え方を普及啓発する研修会を実施
(2) テーマ これからの市民社会を拓く参加と協働のデザイン
(3) 講師 (特活)NPO研修・情報センター 代表理事 世古 一穂

| 会場 | 開催日 | 県 | 市町 | その他 | 合計 |
|---------------|-------------|-----------|------------|----------|------|
| 福井市 (アオッサ) | H24. 11. 13 | 12 課 20 人 | 10 市町 19 名 | 2 団体 5 人 | 44 人 |

■得られた成果と今後の課題

- ・研修後のアンケート集計では、参加者の77.8%が研修内容を「理解できた」と回答するなど、NPO等との協働に関して一定の理解が進んだものと考えられる。
- ・特に、実際の行政との協働事例の紹介 <「(特活)小さな種・こころ」のコミュニティ・レストラン>に参加者が深い関心を示した。
- ・反面、座学だけでなく参加者と意見交換できる場を設定して欲しかった旨の要望や、協働の失敗事例やその要因についても聞きたかった旨の要望があった。

⑩ NPO等の活動等の広報事業

- 内 容：各地域で精力的に活動しているNPOの紹介やNPOに関する旬の話題を提供する季刊誌「NPOタイムズふくい」の発行／配付

■発行部数：vol.1 (8月21日発行) 1,000部

vol.2 (10月18日発行) 1,000部

■配布先：NPO等 300部

社会福祉協議会 (県・市町) 7部

行政 (県・市町) 20部

公民館 40部

その他 633部 (ふくい県民活動センター、福井市NPO支援センター、鯖江市民活動交流センター、小浜市ボランティア・市民活動交流センター、各セミナー会場等)

■備考：インターネット上でも同内容を公開

■得られた成果

- ・取材活動によるNPO団体との面談を通して、地域のNPOとの顔が見える深い関係を構築することでNPO同士のネットワーク作りを支援できた。

- ・誌面を通して積極的に活動するNPOを知ることで、NPO活動を活性化し、NPO等の活動基盤の強化に資することができた。

3 NPO等に対するつなぎ融資への利子補給事業

- 事業内容：NPO等が行政から受託した事業の実施に際して金融機関等のつなぎ融資を利用する場合に、当該融資にかかる利子に相当する金額に対して、利子補給金を交付（2%を上限）
- 募集期間：平成24年4月1日～12月28日
- 事業広報：金融機関へ制度の説明、ホームページ・メールマガジン等による事業の周知
- 利用実績：なし

4 共通事務に関する事業

運営委員会の開催

- ①第3回運営委員会（平成24年5月18日）
 - ・平成24年度NPO等活動基盤強化事業の委託先選定
 - ・平成23年度新しい公共支援事業（新しい公共の場づくりモデル事業、NPO等活動基盤強化事業）の実績報告
 - ・平成23年度新しい公共支援事業の評価

2. 成果目標の達成状況

1 県内NPO法人のホームページ開設率

事業実施前：50.7% → 23年度下半期：58.3% → 24年度上半期：59.0% （目標値：60%）

2 中間支援組織の職員を専門的人材として育成（ボランティア・コーディネーター、ファンドレイザー等）

事業実施前：0人 → 23年度下半期：54人（延べ） → 24年度上半期：（現在事業実施中）
（目標値：40人）

3 ボランティア活動や県民と連携した新たな公共サービスの促進

〔社会人の職能や技能、経験を活かしたプロボノ活動や、NPO、企業、行政などが連携して行う新たな公共的サービスの提供を通じて、地域の課題を解決〕

事業実施前：0件 → 23年度下半期：13件 → 24年度上半期：21件 （目標値：10件）

3. 全体評価

モデル事業については、平成23年12月から2か月の募集期間を経て、3月21日の運営委員会で24年度に実施する事業21件を選定し、4月以降、順次、事業を開始した。

NPO等活動基盤強化事業については、4月13日から約1ヶ月の募集期間を経て、5月18日の運営委員会で委託者を選定し、同月下旬より、順次、事業を開始した。

各事業とも概ね計画通りに進捗していると考ええる。

1 新しい公共の場づくりモデル事業

平成24年度に実施する事業企画の募集・選定を前年度に前倒しで行ったことから、特に前年度からの継続事業について、時間的に切れ目なく事業を執行できた。

モデル事業の特徴であるマルチステークホルダープロセスについても、事業に関係する5団体以上で

構成される会議体を立ち上げ、当該会議体の意見を反映しながら事業を実施しており、従来型の委託者である行政と受託者であるNPO等だけの関係に留まらず、幅広い関係団体の参加を得ることができ、広域ネットワークの形成、多様な意見の徴収など、事業展開に幅が広がっている。

このように、マルチステークホルダープロセス=多様な主体との連携が促進されたことは、NPOにとって今後の事業を展開するうえで大きな財産となっている。普段はなかなか連携できない主体とも本事業を契機として連携がとれたという声をNPOから聞いており、多様なステークホルダーを巻き込んで、「これまで関係のなかった団体と新しい関係をつくる」という意識が喚起できたことは成果であると考ええる。

来年度以降の事業継続を見据えた成果も出始めてきている。

例えば、「農産物の生産並びに販売における障害者雇用推進事業（チャレンジド・ファーム）」では、本事業の実施により障害者の雇用や農作業を通じた就労支援に関するノウハウが身についたので、来年度以降は、当該知見を活用して、就労継続支援A型事業所（雇用型）への移行を目指す動きが出ている。

また、「ダンボールコンポストを利用したごみの減量化推進事業」では、ダンボールコンポストによるごみの減量化を推進する「たい肥化アドバイザー」が10名育成されるなど、事業の継続に向けた取組みがみられた。

事業実施期間が残り数か月となったことを踏まえ、現在実施している事業を25年度以降もいかに継続していくか、その方策を常に意識・検討し、会議体による議論も行いながら25年度以降も見据えて事業を実施していくことを期待する。

2 NPO等活動基盤強化事業

引き続き、平成23年度と同様の委託先に一括して業務委託を行っており、個々の事業が全体の計画に基づき実施されている。

特に、NPO・行政交流会では、昨年度のNPOからの意見を踏まえ、実施方法をNPOの活動分野別から活動地域別に変更したところ、実参加団体が昨年度の40団体から83団体へ大幅に増え、今まで同じ地域で活動していても知り合うことのなかったNPO同士やNPOと行政を引き合わせる場の提供ができたと考えられる。このことは、今後のNPO活動の活性化や行政とNPOとの協働の進展につながるものと期待される。

また、各事業については、昨年度に引き続き、NPO等が参加しやすいよう開催地域の分散化や、プログラムを土日や平日の夜間に集中させるなど参加者が参加しやすい工夫をしている。

平成23年度に引き続き、平成24年度も様々な支援事業を中間支援団体に委託したことにより、事業実施ノウハウや事業実績を蓄積し、および、人的・物的ネットワークなどを構築することで、今後の継続的な支援活動に活かされることを期待する。

3 NPO等に対するつなぎ融資への利子補給事業

金融機関へ制度の説明、ふくい県民活動センターのホームページ、ふくい県民活動センター発行のメールマガジン等で事業の広報を行ったが、23年度に引き続き、利用実績はなかった。

これは、金融機関から融資を得てまで事業を行おうという法人が少ないことと、概算払や前金払への移行を進めた結果、精算払が減少しているためと思われるが、引き続き関係者へ事業のPRを実施していく。

評価ランク

S：特に優れた成果が得られた A：優れた成果が得られた B：一定の成果が得られた
 C：限定的であるが成果が得られた D：成果が得られなかった
(該当する評価に『』を付けてください。)

4. 個別実績報告の総括表

① 新しい公共支援事業（③を除く）

| 業務名 ※1 | 委託した場合は受託した団体等名 | 種別 ※2 | 自己評価 |
|--------------------------|---|-------|------|
| [提案方式導入] NPO等活動基盤強化事業 | サポネットふくい (特活) コラボNPOふくい、(特活) さばえNPOサポート、 (特活) WACおばまの3団体で構成されるコンソーシアム | 基、附、資 | |

※1 プロポーザル方式の発注を行ったものには“[提案方式導入]”、派遣専門家等の実績・評価を公表しているものには“[派遣評価公表]”、支援対象者の数や満足度が委託費の支払いに反映できる仕組みを導入しているものには“[満足度反映]”と記載してください。

※2 「種別」欄には、活動基盤整備支援に関連するものは「基」、寄附募集支援に関連するものは「附」、融資円滑化支援に関連するものは「資」、利子補給に関連するものは「利」、その他に関連するものは「他」と記載してください。(複数回答可)

② 支援対象者

| 事業名 | 団体・組織等名 | 種別 ※3 | 自己評価 |
|-----------------------|-----------------|-------|------|
| 専門家による個別相談（税理士） | (特活) 幸福の国 | 基 | |
| | (特活) エル・コミュニティ | 基 | |
| 専門家による個別相談（中小企業診断士） | (特活) エル・コミュニティ | 基 | |
| | | 基 | |
| 専門家による個別相談（プログラマー） | (特活) 平成謙光舎 | 基 | |
| | (特活) さばえNPOサポート | 基 | |
| 専門家による個別相談（デザイナー） | (特活) さばえNPOサポート | 基 | |
| | | 基 | |
| 専門家派遣による個別指導（税理士） | (特活) 福井犬・猫を救う会 | 基 | |
| | | 基 | |
| 専門家派遣による個別指導（中小企業診断士） | | 基 | |
| | | 基 | |
| 専門家派遣による個別指導（社会保険労務士） | | 基 | |
| | | 基 | |
| 専門家派遣による個別指導（弁護士） | | 基 | |
| | | 基 | |
| 専門家派遣による個別指導（プログラマー） | | 基 | |
| | | 基 | |
| 専門家派遣による個別指導（デザイナー） | | 基 | |
| | | 基 | |
| 金融機関との融資相談会（個別相談） | (特活) さばえNPOサポート | 資 | |
| | | 資 | |

(平成24年11月30日現在)

※3 「種別」欄には、活動基盤整備支援に関連するものは「基」、寄附募集支援に関連するものは「附」、融資円滑化支援に関連するものは「資」、利子補給に関連するものは「利」と記載してください。(複数回答可)

| 評価ランク (5段階評価：S→A→B→C→D) | | 団体数 | 比率 |
|-------------------------|----------------|-----|----|
| S | 特に優れた成果が得られた | | |
| A | 優れた成果が得られた | | |
| B | 一定の成果が得られた | | |
| C | 限定的であるが成果が得られた | | |
| D | 成果が得られなかった | | |
| 合 計 | | | |

③ モデル事業

| 事業名 | 団体・組織等名 | 分類 ※4 | 自己 評価 |
|--|--|----------|----------|
| ダンボールコンポストを利用したごみの減量化推進事業【県】 | (特活)エコプラザさばえ | 重 | |
| 再生可能エネルギー普及促進事業【県】 | (特活)エコプランふくい | 重 | |
| 女性と若者のための創業支援事業 「YALOSSA (やろっさ)！」【県】 | (特活)アントレセンター | 重 | |
| 福井県帰住希望者のための新たな定住環境の整備と生活サポートを目的とした地域のつながり力強化推進事業【県】 | (特活)ふるさと福井サポートセンター | 重 | |
| 水辺を活かした県都のまちづくり事業【県】 | (公財)福井観光コンベンションビューロー (特活)ドラゴンリバー交流会 (社)福井青年会議所 | 重 | |
| 放課後子どもプランにおける新たなプログラム開発および放課後子どもコーディネーター研修事業【県】 | (特活)福井県子どもNPOセンター | 重 | |
| 東日本大震災による被災者・被災地復興支援事業【県/震災対応】 | (特活)ふくい災害ボランティアネット | 震災 | |
| 東日本大震災被災者のための「第2のふるさとふくい」事業【県/震災対応】 | 殿下被災者受入委員会 | 震災 | |
| 豊かなIT社会の構築事業【県】 | (特活)たんなん夢レディオ | 重 | |
| 越前市大滝地区小水力利用モデル事業【県】 | (特活)森のエネルギーフォーラム | 重 | |
| 昭和の科学・文化映画で高齢者と児童をつなぐ公民館活動【県】 | (特活)ふくい科学学園 | 重 | |
| ふくい地域活動応援ファンド事業【県】 | (特活)コラボNPOふくい | 重 | |
| 三國湊・敦賀間 海の観光ルートおよび教育プログラム開拓事業【県】 | (一社)三國會所 | 重 | |
| コウノトリを育む事業【県】 | しらやま振興会 | 重 | |
| 中心市街地(順化地区)における恒常的な賑わい創出とその担い手育成事業【福井市】 | どまんなか協議会 | 重 | |
| 市民と一体となって雪を克服し、雪に親しみ、雪を活用するまちづくり【勝山市】 | 勝山市区長連合会 | 般 | |
| 農産物の生産並びに販売における障害者雇用推進事業(チャレンジド・ファーム)【鯖江市】 | (特活)小さな種・こころ | 重 | |

| | | | |
|---------------------------------------|---------------------|---|--|
| 国際化が進む越前市における各種情報の「やさしい日本語」化推進事業【越前市】 | 越前市国際交流協会 | 重 | |
| 次世代の定住促進事業【若狭町】 | 若狭町次世代定住促進協議会 | 重 | |
| 鉄道と港の歴史資産を活用したまちづくり事業【敦賀市】 | 「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会 | 重 | |
| 協働のまちづくりにおける地域担い手育成事業【小浜市】 | (特活)WAC おばま | 重 | |

※4 「分類」欄には、新しい公共の場づくりのためのモデル事業のうち、一般枠の事業は「般」、NPO支援重点化枠の事業は「重」、社会イノベーションの推進のためのモデル事業については「イ」と記載してください。

| 評価ランク (5段階評価:S→A→B→C→D) | | 団体数 | 比率 |
|-------------------------|----------------|-----|----|
| S | 特に優れた成果が得られた | | |
| A | 優れた成果が得られた | | |
| B | 一定の成果が得られた | | |
| C | 限定的であるが成果が得られた | | |
| D | 成果が得られなかった | | |
| 合 計 | | | |

新しい公共支援事業の成果等報告
 (都道府県が実施した支援事業分 (ただし、委託業務分を除く。))

1. 成果等報告

| | | |
|--------------|--|--|
| 事業名 | NPO等に対するつなぎ融資への利子補給事業 | |
| 事業の種別 | <input type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input checked="" type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可) | |
| 都道府県名 | 福井県 | |
| 実施期間 | 平成24年4月～平成24年12月 | |
| 業務内容 | NPO等が行政から受託した事業の実施に際して金融機関等のつなぎ融資を利用する場合に、当該融資にかかる利子に相当する金額に対して、利子補給金を交付 (2%を上限) ■募集期間：平成24年9月1日～12月28日 ■事業広報：金融機関へ制度の説明 ふくい県民活動センターのホームページ ふくい県民活動センター発行のメールマガジン 等 | |
| 得られた成果及び自己評価 | ■利用実績なし 概算払、前金払への移行が進み、精算払が減少しているためと思われるが、引き続き関係者へ事業のPRを実施する。 ■概算払、前金払への移行促進に向け、以下の取組みを実施した。 県への対応：庁内各部局に対して、概算払、前金払への移行を依頼 ・H22.12.24 新しい公共支援事業 庁内説明会で口頭依頼 ・H23.11.25 // ・H23.3.25 「NPO等に支払う委託料の概算払(前金払)について(依頼)」を発出 市町への対応：市町に対して、概算払、前金払への移行を要請 ・H22.12.24 新しい公共支援事業 市町説明会で口頭要請 ・H23.11.24 // ・H23.3.28 「NPO等に支払う委託料の概算払(前金払)について(依頼)」を発出 | |
| | 評価ラ ンク | <input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった |

2. 添付書類

なし